

# 船舶事故調査報告書

令和3年1月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和2年2月13日 12時00分ごろ
発生場所	長崎県佐世保港下ノチドリ瀬 佐世保港弁天島灯台から真方位158°850m付近 (概位 北緯33°08.3′ 東経129°43.1′)
事故の概要	漁船幸栄丸は、北進中、浅瀬に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和2年2月17日、主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 幸栄丸、2.45トン
船舶番号、船舶所有者等	NS3-507674（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	プロペラ翼、プロペラ軸及び舵板に曲損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 3、視界 良好 海象：波高 約1.0m、潮汐 高潮時
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、佐世保港内の給油所に向けて北進中、下ノチドリ瀬に乗り揚げた。 船長は、下ノチドリ瀬の存在を知っていたが、本事故当時、同瀬が海面下となって見えなかったため、ふだんより近回りしてしまったと本事故後に思った。
分析	本船は、北進中、高潮時で下ノチドリ瀬が海面下となって見えない状況下、船長が、ふだんより近回りしたことから、同瀬に接近する針路となり、同瀬に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が北進中、高潮時で下ノチドリ瀬が海面下となって見えない状況下、船長が、ふだんより近回りしたため、同瀬に接近する針路となり、同瀬に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・浅瀬がある海域を航行する場合、浅瀬などから十分な距離を保って航行すること。